

第32回 公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和7年12月18日（木）13時30分～17時50分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し等について報告を受け、決裁した。

(2) 警察署協議会委員の解嘱・委嘱

警察本部から、警察署協議会委員の解嘱・委嘱について報告を受け、決裁した。

(3) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(4) 審査請求の裁決

警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。

(5) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 犯罪抑止総合対策推進状況（11月）

警察本部から、

- 令和7年11月末の刑法犯認知件数は9,454件と、前年同期比557件（6.3%）増加した。
- 「刑法犯の割合」は、窃盗犯が6,432件と、全体の約7割を占めている。11月中の傾向として、万引き及び自動車盜が前年比で増加した一方、自転車盜及び車上ねらいが前年比で減少し、11月単月では刑法犯総数も減少で推移している。
- 「特殊詐欺認知状況」は297件と、前年同期比136件（84.5%）増加、被害額は約11億6,530万円と、前年同期比約7億1,530万円（159.0%）増加した。11月中の傾向として、先月に引き続き息子をかたるオレオレ詐欺の被害が急増し、11月中には36件の被害を認知したほか、警察官をかたるオレオレ詐欺についても9件認知した。
- 「SNS型投資・ロマンス詐欺認知状況」は165件と、前年同期比38件（29.9%）増加、被害額は約15億4,160万円と、前年同期比約1,360万円（0.9%）減少した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「特殊詐欺被害を防ぐためには誰かに相談することが大事だと思う。犯人の言いなりにならないよう、誰かに相談することの重要性を広報していただきたい。

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺被害を防ぐためには、現在実施している各種施策を継続実施し、一人でもだまされない社会を築き上げていくしかないと思う。」

旨を発言した。

(2) 110番の日に伴う広報活動

警察本部から、

- 毎年1月10日の「110番の日」に合わせ、各種広報媒体やSNSを活用し、110番通報要領、110番映像通報システム等を広報し、適正な利用促進と周知を図るため、「晴れの国 まもる安心 110番」を統一標語として、広報活動を実施する。
- 主な取組として、1月10日（土）、岡山市北区建部町建部地内の建部町文化センターにおいて、「110番」かけ方教室、交通安全教室及び警察音楽隊によるコンサートを行う広報イベントを開催する。
- その他の取組として、テレビ、ラジオ出演による広報啓発や高校生に対する110番通報訓練等を行う。

旨の報告を受けた。

委員が、

「県南の警察署の活動について、県央や県北の警察署でも参考となる活動があるため、警察署同士でタイアップして広報活動することは良いと思う。

いたずら電話をしないよう学校等を訪問し、広報することは、良いと思う。」

旨を発言した。

(3) 重要事件認知・検挙状況（11月）

警察本部から、

- 令和7年11月中の重要事件認知件数は28件と、前年同期比15件増加、検挙件数は現住建造物等放火未遂事件、殺人未遂事件及び不同意性交等未遂事件等31件と、前年同期比10件増加した。
- 令和7年11月末の重要事件認知件数は206件と、前年同期比68件増加、検挙件数は214件と、前年同期比63件増加した。
- 検挙率は103.9%で推移している。

旨の報告を受けた。

委員が、

「放火については大規模火災につながる恐れもあるため、県民への注意喚起も含めて対応していただきたい。

放火犯は1回の犯行に止まらず、複数回犯行を繰り返す傾向があるほか、保険金詐欺が絡んでくるなど、社会的に大きな問題となることもあるため、引き続きしっかりと検挙していただきたい。」

旨を発言した。

(4) 交通事故発生状況（11月）

警察本部から、

- 暫定値であるが、令和7年11月末の総事故件数は46,560件と、前年同期比943件増加、そのうち人身事故は4,221件と、前年同期比199件減少した。
- 11月中の交通事故による死者数は2人であり、11月末の死者数は37人と、前年同期比16人減少した。11月末までの死亡事故の特徴として、下半期の死亡事故19件のうち、8件が夜間発生の対歩行者事故であり、そのうち5件が道路横断中であったほか、夜間の歩行中死者8人のうち、5人が高齢者であった。
- 交通死亡事故再発防止対策として、岡山西警察署において、11月5日（月）、道路横断中の交通死亡事故の発生を受け、関係機関・団体と協働で街頭啓発活動を実施し、夜光反射材の着用徹底を呼び掛けた。
- 11月中の主な取組として、各警察署ごとの交通事故分析結果に基づき、夜光反射材貼付活動や夜間飲酒検問等を実施した。また、警察本部において交通事故分析結果を基に「交通安全指南書」を作成し、SNSを通じて交通事故防止を呼び掛けたほか、倉敷警察署、児島警察署及び岡山東警察署において、ナイトポリスを活用した注意喚起を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「交通事故防止のため、LEDの夜光反射材着用が歩行者に普及していくよう民間団体等とも連携して対応していただきたい。

飲酒運転による運転免許証の取消し事案も多いため、年末に向けてより一層飲酒運転に対する取締りを強化していただきたい。」

旨を発言した。

(5) 国家賠償請求控訴事件の判決結果

警察本部から、国家賠償請求控訴事件の判決結果について報告を受けた。

(6) 令和8年度当初予算要求スケジュール

警察本部から、令和8年度当初予算要求スケジュールについて報告を受けた。

(7) 交番・駐在所への「手話リンク」導入の概要

警察本部から、交番・駐在所への「手話リンク」導入の概要について報告を受けた。

(8) 鑑識技術等研究発表会の開催結果

警察本部から、鑑識技術等研究発表会の開催結果について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和8年1月15日（木）13時10分から開催予定